

田の原には花の季節がやってきました。昨年実施した笹刈り後の変化が気になるこの頃です。

今年木道を歩いて感じるのは、クロユリの葉の多さです。まだ花は咲かないけれど、数年後に咲くであろう一枚だけの葉がたくさん出ています。
(写真下白○)



また、今までは雨が降ると水がたまりませんが、しばらくすると乾いていた所に、コバイケイソウがいくつも芽を出していました。(写真上白○)

田の原では笹を刈ることで、湿原にあるべき植物が増えていくことを目指していますが、私たちにもできる環境改善が身のまわりにはたくさんあります。どんなことがあるのか、回を重ねながら少しずつ掘り下げてお伝えしたいと思います。今回はその初めの一話、プロログをお届けします。

身近にできる環境改善 ~プロログ~

畠山智明

「枝を一本切る」「草を少し高めに刈る」「少し地面に穴を掘る」そんな簡単なことで、身の回りの環境は変わっていきます。

下向きになり、地面につきそうになっている枝や、見通しの悪くなっている枝を一本切ることで、**風が通り空気が動きます。**

風が通り続けることで周辺の温度が下がり、蒸れが少なくなり、木々につく病害虫や蚊などが少なくなる傾向が見られます。

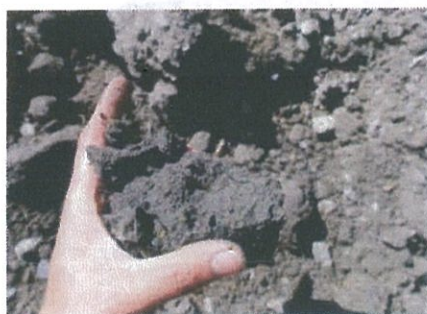


また、旺盛に育った背の高い草を、地面から10cmほど残して刈ることにより、地面を這って生きる習性をもつクローバーやオオバコ、ハコベなどが残り、湿度を保ち**乾燥を防ぐ**ことができます。

草を残すことにより、根がしっかり水を浸透させて雨を受け止め、土地を潤し、水と温度を自動で調整してくれるのです。

裏面へ続きます~

雨が降った後によく見る水たまり。これは、地面が踏み固められて水が浸透できなくなった場所。でも実は、固くなっているのは表面から数センチの場合が多いです。そこに小さなスコップで穴を掘ると面白いように水が吸い込まれていくことがあります。



踏み固められた土



土の中に伸びる根っこ



水を浸透させる縦に掘った穴

こんなふうに少し自分のまわりに目をやり、観察し、整えるように手を加えていく。それが誰にでも出来る身近な環境改善につながっていきます。

ご興味のあるかた、ぜひ一緒にRoots Ontakeの活動に参加していただけると嬉しいです。(つづく)

私は以前、草取りというと地面が見えるように一生懸命草を取り、やっと一回りするともう草が出ている…ということがよくありました。今は全部の草を抜かずに上を短く刈っています。(おしってることもあるな…)土がおき出しにならないことで、朝露がついたり、夏の照り返しが少し和らぐ気がします。

こんなこと始まります

王滝村のカルチャーセンター
「ロロサエ」の雑木林を手入れして
湖の見える庭を作ろう！

講師：畠山智明

日時：7月12日(日)

場所：ロロサエ周辺

作業：道を開く・笹刈り・地形を
読む(汚れても良い服装で)

参加費：500円(昼食材料費・みんなで昼)

☆風通しや見通しの良い庭作りの
ヒントが見つかるはず！

お問合せは
こちらまで

Mail: tao0616@icloud.com(近藤)

ミズゴケ応援隊活動予定！

- ① 6/30(火)※終了
- ② 7/20(月祝)
- ③ 8/1(土)
- ④ 9/5(土)



各日10:00~15:00

田の原天然公園入口鳥居下集合 ↑

※詳細はホームページをご覧ください。

小さなミズゴケから始まる 自然と対話する楽しさ(腰の痛さも含めて笑)を体感してみませんか。

皆様のご協力を心よりお待ちしております。

一般社団法人Roots Ontake

長野県木曽郡木曽福島1240

mail: 3067kisoontake@gmail.com



編集後記

夏至が過ぎ、これから暑い夏がやってきます。クーラーを使うことも必要ですが、木陰を吹き抜ける風の心地よさをもっと身近に感じたいと思うこの頃です。

ミミズや菌類、小さな生き物たちが棲んでいる土の感触を、足の裏で感じてみたくなってきた…